

1960
2012
9 / 15

府職の友

発行所／大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人／橋口 紀塩 編集人／田中 克義
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

電気は足りた！原発いらない！
関電本社前抗議行動
毎週金曜日18:00-19:30
みんなで参加しよう!!

国民・労働者の願い届く国会・政治を！

消費税増税・社会保障改悪許さず、「働くルール」の確立めざそう

第180通常国会が、9月8日に閉幕しました。この通常国会で民主党政権は、国民に対する政権公約を次々と破り捨て、「政治生命をかける」とした消費税増税・社会保障改悪関連法案を、国民の過半数の反対を押し切り、「民・自・公」の「大連立」で強行成立させました。しかし、こうした悪政の推進に対し、今もなお、国民の大きな怒りが具体的な行動となって、持続的に広がっています。

国民の過半数は消費税増税反対

消費増税を許さない国民的世論は、6月末の衆議院可決後も広がり、各種の世論調査でも「消費税増税

反対」の声は過半数を占めています。

J Aや日本医師会の「全面的反対」が表明され、朝日新聞の世論調査でも過半数の人が「農業や経済に悪影響を及ぼす」と答えています。

毎週続く「原発ゼロ」行動

「原発ゼロ」の課題でも、「電力不足」を口実とした大飯原発再稼働に対し、3月から開始された毎週金曜

の首相官邸前の抗議行動が全国に広がり、大阪では関西電力本社前の抗議行動に約2千人が集まっています。

オスプレイ反対の県民大会に10万1千人

欠陥機オスプレイの日本への配備と低空飛行訓練の問題では、全国知事会が「国内配備反対決議」を行い、配備が予定されている沖縄では、9月9日、「普天間へのオスプレイ配備反対」の沖縄県民大会が行われ、過去最多の10万1千人が参加しました。

悪政の露払い、公務員人件費削減を許すな

この秋、こうした悪政の推進や具体化を許さない



毎週金曜日の関西電力本社前抗議行動

働き続けられる職場をめざして

女性部要求書提出

8月27日、府職労女性部は「女性部要求書」を提出し、要求の趣旨説明を行い、各職場からの女性の声を伝えました。

9月より施行される学童保育の送迎に関する早出遅出制度が、学童を持つすべての職員が使える制度になっていないこと、学童期(特に小学校低学年)の放課後の安全性への不安で仕事を辞めざるを得ないという声があることを伝え、小学校低学年までの保育特休の復活や通勤時間の短縮などを強く要求しました。また、セクハラ問題では、被害者は心的ストレスを持ち続けることを伝え、問題が発生した時の対応の強化や、橋下知事時代に廃止された特別休暇の復活、女性検診で経過観察になった職員の毎年検診の実施などを強く要求しました。



たかいと結んで、すべての労働者の賃金底上げと雇用の安定、悪政推進の「露払い」としての公務員総人件費削減許さず、国民生活を支える公務員を拡充させ

るたかいたを進めましょう。府職労は、国民・労働者の願いを反映する国会・政治をめざすとともに、秋のたたかいで要求前進に向



毎月定例で行っている「働くルール」確立をめざす宣伝行動



大阪府公務員労働組合(府公職労)は、9月6日、松井知事あてに「2012年度要求書」を提出しました。

大阪府では、職員削減が進められる中、非常勤職員が増え、2千人以上になっていきます。1年雇用で2回更新され、3年で雇止めという不安定な雇用は、非常勤職員は将来の不安を抱えています。また、「年休を使うと更新できないのでは」「業務が忙しく年休がとれない」などの声も出ています。

府公職労は、①恒常的な業務を担う非常勤職員の正規への切り替え、②基本賃金の時給1千円以上の引上げ(現在、非常勤作業員は934円)、③一時金をはじめとする諸手当に関する条例の制定、④夏季休暇をはじめとした休暇制度の新設・改善、⑤パワハラ防止、⑥委託業務等で働く労働者の賃金・労働条件の改善のため公契約条例の制定などを強く要求しています。

引き続き、府公職労は、大阪府関連の職場に働くみなさん(非常勤職員・業務委託職員・外郭団体職員)の声を集め、待遇改善、雇用の安定をめざし、取り組みを進めます。

府公職労要求書提出

なくせ！
官制ワーキングプア！

遊歩道

「暑さも寒さも彼岸まで」と昔からのことわざで良く言われる。今年も彼岸の入り付近

づいているが、田舎育ちの私にとっては彼岸がくれば気持ちの良い季節が来るといつも心待ちにしている▼それにしても今年の夏の天気は、全国的にも大阪でも昨年と違って異常気象と言ってもいい状況だった▼大阪では、ゲリラ豪雨による被害も、毎日のように強い雨が降ってくるなど近年経験したことのない天気。また、北海道でもお盆を過ぎるとストーブが必要になるくらい冷え込むのに、今年

は異常な暑さが続いている。ただこころは涼しい。その上、テレビでは北極海の氷がここ数年前に比べ溶け方が早くなっていることが報道されている。

あらためてこの夏の異常気象が地球の温暖化と結びついているように思えてならない▼「原発ゼロ」や自然エネルギー転換の闘いが盛り上がりつつあるが、環境を守ることや地球温暖化に歯止めをかけることにも結びつけなければならぬと思う。あわせて、人間が安心して暮らしやすい環境づくりに向けて重要な時期にきているのではないだろうか。